

令和5年度 麴町幼稚園
第1回 幼稚園運営連絡会

○日時 令和5年5月31日(水) 16:00～17:00

○場所 麴町区民館 洋室C

○参加者

【委員】

鈴木 徹 (麴町二丁目町会長)
谷 真理子 (ワーク・わくクラブ代表)
石井 雅幸 (大妻女子大学 教授)
酒井 浩子 (主任児童委員)
川島 はつね (令和4年度麴町幼稚園 PTA 会長)
森 阿也香 (令和5年度麴町幼稚園 PTA 会長)
田村 砂弥香 (麴町小学校長)
木村 恭子 (麴町幼稚園長)

【事務局】

荒木 久子 (幼稚園主任) 高久 由起恵 (教諭)
信川 佳代 (教諭) 北村 優佳 (教諭)

○内容

1. 委員の委嘱

2. 開会の言葉

3. 自己紹介

4. 幼稚園の経営方針について(園長)

- ・教育目標の達成に向けて「出会いから、豊かな学びが生まれる幼稚園」を経営方針の柱とし、「心わくわく！体いきいき！な、たくましい子ども」を育むことを目指している。
- ・園内研究「心わくわく！体いきいき！たくましい麴町の子」で実践していることを中心に据えた経営方針となっている。「心わくわく！体いきいき！」の経験を重ねる中で学びが生まれると考える。
- ・特色ある教育活動では、保護者の参加や参観の機会を積極的に増やし、期待が広がるようにしていく。

5. 事務局より

○年間計画・教育活動の概要(5歳児担任 主任)

- ・今年度は地域の方にも、幼稚園の行事に参加していただく機会を増やし、園の教育活動を直に見る中で感想や助言をいただければと思う。
- ・6月には4・5歳児の「グループ参観」、9月30日には「おやこでスポーツ」、10月には「園公開」を実施予定。10月31日には「研究発表会」があり、まもなく第一次案の発送を予定している。2月17日(土)には開校・開園30周年式典、3月には修了式を挙げる。ぜひ、ご列席いただきたい。
- ・保護者への積極的な園生活の情報発信を大事にしている。子どもも保護者も園に足を運ぶことが楽しく

なるようにしていきたい。ポートフォリオを掲示したり、園生活の動画を流したりして、子どもの姿をタイムリーに共有できるようにしている。今年度は、ポートフォリオや動画に対する保護者の感想や意見を集め、応答性のあるものを目指している。「分かりやすい」「楽しみにしている」など、教師にとって励みになる感想をもらっている。

- ・祖父母など、普段送り迎えに来られない保護者にも見せたいという要望に応える方法を探っている。

○5歳児の生活について

- ・今年度は23名の子どもたちと生活を進めている。好奇心旺盛で、年長ならではの活動に張り切って参加している。麴町保育園との交流や、屋内プール、田植えなどの活動に取り組んでいる。
- ・いろいろなことを子どもたちと相談し、子どもが主体となる生活づくりを進めている。

○園内研究について（4歳児担任）

- ・「たくましい麴町の子」を育むために、具体的な1つの手立てとして「よさやその子らしさ発見シート」を活用している。1週間や1か月など期間を決めて、対象時のことを知り、その「よさやその子らしさ」が生きる環境や援助を考え、PDCAサイクルで実践している。

○4歳児の生活について（4歳児担任）

- ・進級して、少し大きくなった嬉しさを感じている姿があり、自分でできることは進んでしようする姿がある。はな組の頃は1組と2組で分かれていたが、やま組になって1つの同じ学級になり、新しい環境の変化にも徐々に慣れてきている。
- ・遊びに向かう力が高く、自分のしたいことや思いをたくさん表しながら生活している。
- ・「遊びの充実」と「興味・関心の広がり」を大切にしながら1年間保育を進めていきたい。

○運動遊びについて（3歳児2組担任）

- ・登園後「げんきもりもりタイム」を設定し体を動かす機会を作ることで、体も心も目覚め気持ちよく一日を過ごす姿につながっている。
- ・千代田区で「コーディネーショントレーニング」に力を入れている。今年度は年間3回実施予定。
- ・「36の基本的な動き」を取り入れながら普段の運動遊びを工夫している。教師が意識することで声掛けや環境構成が変わってきている。

○3歳児の生活について（3歳児2組担任）

- ・学年21名で生活している。1・2組で一緒に生活する機会を作ることで、学年の子どもを複数の目で多面的に見ることができる。また安心できる人や興味・関心の方が広がっている。1・2組を行き来する姿もある。遊びの幅も広がり、学年で生活するよさがある。
- ・担任との信頼関係の構築に努めている。
- ・初めての集団生活で、幼稚園って楽しいな、先生大好きを感じられるように心掛けている。

○30周年行事について（3歳児1組担任）

- ・2月17日（土）の式典では、幼児なりに歴史を振り返ったり、地域の人に感謝の気持ちをもったりできるようにしていきたい。
- ・記念誌に使用する航空写真撮影を、小学校全児童と、虹をイメージして行った。
- ・横断幕が6月に出来上がるので園舎に掲示する予定。
- ・麴町幼稚園のキャラクターを作成した。小学校の「こうじマン」と同様にウサギをモチーフにしている。名前は5歳児の子どもたちと決める予定。地域の方々と一緒に周年をお祝いしていきたい。

6. 懇談・意見交換等

【委員の方より】

- ・経営方針の土台には「安心感」があると思う。「その子らしさ発見シート」は、否定的なことや課題を書く項目がなく、どれも肯定的なものばかり。成長と共によさばかりではなく、課題的な姿にも目がいきがちだが、大きくなっても「よさやその子らしさ」は大切にしていけるべきものと改めて思う。
- ・ポートフォリオは、子どもたちの生き生きした写真ばかり。幼稚園では遊んでくればよい、という思いで行かせていたが、今日の説明から教育が散りばめられていることがわかった。地域から安全面は気を配って見守っていききたい。
- ・きめの細かい指導と教師の明るさを感じた。幼稚園でないとできないことがある。預かり保育はどれくらい利用できるのか。藍を育てて藍染をしてもいいかも。
- ・狭い園庭でも、生き物や自然が豊かで、その環境の中で子どもが主体的に関わっている。稲作などは年中小も「年長になるとできる」という期待がみられる。田植えで使う土は何年も再利用しているが、その循環の気付きもある。小さい頃に体験できることの意味がたくさんあり、狭い園庭を工夫した自然体験の継続した取り組みは重要である。
- ・娘は、いつも「早く幼稚園に行きたい」と喜んで登園している。「よさやその子らしさ発見シート」は家庭でも活用していきたいと思うほど関心をもった。自分の子どもを客観視できる機会にもなる。
- ・3月に幼稚園を修了して1年生になった子どもたちも2か月経ち、小学校生活に慣れてきた。入学での環境の変化は大変大きく乗り越えるのに時間がかかる子どももいる。幼稚園と情報を共有し、手立てを考えていく必要があることを感じた。周年に向けた取り組みでは、幼稚園児の存在が児童にとっての張り合いになる部分もある。一緒に楽しみながらお祝いをしていきたい。

7. 閉会の挨拶